

富山県技術専門学院訓練ニーズ調査

中間報告（速報値）について

1 実施期間

11月17日（水）～12月8日（水）

※ 中間報告（速報値）には、12月27日（月）までに届いた回答を集計。
速報値は最終報告書（令和3年度末納品予定）と値が異なる場合があります。

2 調査票回収状況

調査対象	配布数	回収数計	回収率
全事業所	759	283	37.3
ものづくり	1,600	512	32.0
土木・建設	562	227	40.4
介護・福祉	237	121	51.1
ITベンダー	87	27	31.0
ビルメンテナンス	36	13	36.1
事業所計	3,281	1,183	36.1
求職者計	1,393	460	35.8
高校生計※	1,454	1,454	100.0
修了生計	733	396	54.0
合計	6,861	3,493	50.9
求職(WEB閲覧者)		38	

※ 商業科、工業科、情報系の学科や技専への応募・入校者の多い高校へ配布（県内17校）

【事業者】

● 全事業所対象の調査結果

(1) 回答事業所の概要

(2) 人材の過不足感について

問3 貴事業所全体における人材の過不足感についてお聞きします。

貴事業所において、現場の職種（事務職、営業・販売職、専門技術職、技能職）の人材は足りていますか。該当するものに○を付けてください。（いずれかに○）

人材の過不足感について、『不足している』（「やや不足している」＋「かなり不足している」）が49.6%を占めている。また、「今後は不足しそうだ」の18.4%を合わせると7割の事業所が将来を含め不足感を感じていることがうかがえる。一方、『足りている』（「十分足りている」＋「やや足りている」）は30.0%となっている。

問4 問3において「3 今後は不足しそうだ」、「4 やや不足している」、「5 かなり不足している」とお答えの方にお聞きします。それ以外の方は次のページへお進みください。

特にどのような年齢層の人材が不足している又は今後不足しそうですか。

（○はいくつでも）

特に不足している（今後不足しそうな）年齢層は、「若年層」が83.2%、「中堅層」が60.4%となっており、若年層の不足感が特に強いことがわかる。

問5 問3において「3 今後は不足しそうだ」、「4 やや不足している」、「5 かなり不足している」とお答えの方にお聞きします。不足している又は今後不足しそうなのは具体的にどの職種ですか。選択肢に○を付けてください。（○はいくつでも）

不足している（今後不足しそうな）職種は、「技能職」が55.9%と最も高く、次いで「専門技術職」が49.2%となっており、この2職種が特に不足していることがうかがえる。

(3) 科の設置ニーズやカリキュラムについて

問6 貴事業所において、富山県技術専門学院の受講経験者を採用したことはありますか。

（1つに○）

技専受講経験者の採用について、「採用したことがある」が10.9%、「採用したことが無い」が86.8%となっている。

問7 問6で「1 採用したことがある」と回答した事業所にお聞きします。

- ① 以下の1~21のうち、採用経験があるコースのコース番号に○をつけてください。
(○はいくつでも。※科名が以下と異なる場合は同系統の科を選んでください。)
- ② また、採用のあったコースについては、過去10年間(2001年(平成13年)以降)の採用人数のおおまかな総計についても回答欄にご記入ください。
- ③ 採用のあったコースについて、訓練カリキュラムの満足度を教えてください。

① 採用経験があるコース

採用経験があるコースは、「メカトロニクス科」が19.4%と最も高く、次いで「電子情報科」が15.5%、「介護サービス科」が14.0%となっている。

③ 採用のあったコースの訓練カリキュラムの満足度

※回答事業所数が20事業所を超えるカリキュラムのみ分析

<メカトロニクス科>

『満足』(『満足』+『やや満足』)は48.0%となっており、一方、『どちらでもない』は40.0%となっている。

<電子情報科>

『満足』(『満足』+『やや満足』)は55.0%となっており、一方、『どちらでもない』は35.0%となっている。

問8 問6で「2 採用したことが無い」と回答した事業所にお聞きします。

これまで富山県技術専門学院のことをご存じでしたか。(1つに○)

「知っていた」が49.0%、「知らなかった」が48.4%となっている。

問9 富山県技術専門学院における職業訓練の設定コースについてお聞きします。以下のコースのうち、貴事業所において役に立つと思う職業訓練コースをすべて選び、その番号に○を付けてください。

(すでに採用実績のあるコースも含めてお答えください。○はいくつでも)

役に立つと思う職業訓練コースは、「ビジネス事務科(パソコン・経理コース)」が16.8%と最も高く、次いで「金属加工科(企業実習付コース)」が13.7%、「パソコン事務科」が13.0%となっている。一方、「役に立つと思う職業訓練コースは無い」は24.0%となっている。

問10 現在、ものづくり系の科（金属加工関連など製造業関連の科）については、富山県技術専門学院新川センター（黒部市）や砺波センター（南砺市）には設置していません。たとえば新川センター及び砺波センターにCAD関連科を設置するという案についてどうお考えですか。それぞれの施設において、お考えに近いものを選んで○を付けてください。（それぞれ1つに○）

① 富山県技術専門学院新川センター（黒部市）

『設置すべき』（「設置するべき」＋「どちらかといえば設置すべき」）が24.0%となっており、一方、「わからない」が50.9%となっている。『設置すべき』と回答した「製造業」は28.6%、「建設業」は29.6%となっている。

② 砺波センター（南砺市）

『設置すべき』（「設置するべき」＋「どちらかといえば設置すべき」）が23.6%となっており、一方、「わからない」が51.2%となっている。『設置すべき』と回答した「製造業」は27.7%、「建設業」は29.2%となっている。

問11 富山県技術専門学院の受講経験者を採用する場合に、貴事業所の所在地エリアに富山県技術専門学院があれば、採用活動はしやすいですか。（1つに○）

事業所の所在地エリアに技専があった場合、採用活動はしやすいかという問いに対して、「あまり影響はない」が36.7%と最も高く、次いで「しやすい」が31.3%、「わからない」が27.6%となっている。

問12 貴事業所に早期退職制度がありますか。（1つに○）

早期退職制度があるかという問いに対して、「はい」が2.8%、「いいえ」が90.0%となっている。

問13 早期退職制度があると答えた事業所におたずねします。

希望者への再就職支援として、公共職業能力開発施設の入校案内を提供するなどの情報提供を行っていますか。また、今後行いたいと思えますか（1つに○）

再就職支援としての情報提供について、「行っている」は3.0%であった。『今後は行うかもしれない』（「行っていないが今後は行いたい」＋「行っていないが今後は行うかもしれない」）は42.4%となっており、一方、「行なっていないし今後も行う予定はない」が27.3%、「わからない」が24.2%となっている。

問14 富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

効果的な広報媒体としては、「県や学院のHP」が40.9%と最も高く、次いで「市町村などの広報誌」が40.0%、「求職者・企業へのDM」が32.0%となっている。

問15 貴事業所では、生産性向上などを目的として、データとデジタル技術の活用を進める等のDX導入に取り組んでいますか。該当する番号に〇をつけてください。(1つに〇)

DX導入の取り組みについて、「既に取り組んでいる」が11.0%、「今後取り組みたい」が33.6%となっている。一方、「取り組む予定はない」は19.3%であった。また、「わからない」も19.2%を示している。

問16 問15において、「1 既に取り組んでいる」、「2 今後取り組みたい」と回答した事業所にお聞きします。それ以外の方は問17へお進みください。

DX推進のために、中心となり取り組める人材(デジタル人材)は足りていますか。該当するものに〇をつけてください。(1つに〇)

デジタル人材の充足について、『足りている』(「十分足りている」+「やや足りている」)は23.1%となっている。一方、『不足している』(「やや不足している」+「かなり不足している」)は49.7%を占めており、「今後は不足しそうだ」の25.0%を合わせると74.7%の事業所が将来を含めデジタル人材の不足感を感じていることがうかがえる。

問17 デジタル技術の活用による広報(SNSを活用した広報)や求人活動(オンライン採用など)、ネット販売(ECサイトを活用した販売など)に取り組んでいますか。該当する番号に〇をつけてください。(1つに〇)

デジタル技術の活用による広報、求人活動、ネット販売への取り組みについて、「既に取り組んでいる」が17.7%、「今後取り組みたい」が27.4%となっている。一方、「取り組む予定はない」は25.2%であった。また、「わからない」も14.7%を示している。

問18 問17において、「1 既に取り組んでいる」、「2 今後取り組みたい」と回答した事業所にお聞きします。それ以外の方は問19へお進みください。

デジタル技術の活用による広報(SNSを活用した広報)や求人活動(オンライン採用など)、ネット販売(ECサイトを活用した販売など)のために、中心となり取り組める人材は足りていますか。該当するものに〇をつけてください。(1つに〇)

デジタル技術を活用した広報、求人活動、ネット販売を中心となり取り組める人材の充足につ

いて、『足りている』（「十分足りている」＋「やや足りている」）は 31.5%となっている。一方、『不足している』（「やや不足している」＋「かなり不足している」）は 44.4%を占めており、「今後は不足しそうだ」の 21.8%を合わせると 66.2%の事業所が将来を含め人材の不足感を感じていることがうかがえる。

【事業者】

● ものづくり系事業所対象の調査結果

問1 ものづくり系業種（製品・部品の図面をCADにて作成している製造業）の事業所の方にお聞きします。それ以外の方は次ページ問2にお進みください。

CADを使う業務における、以下の1～5の職種ごとに、(1) 人材充足度、(2) 採用希望年代、(3) 採用を希望する学歴、(4) 当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

(1) 人材充足度

全職種において、『足りている』（「足りている」＋「やや足りている」）より、『不足している』（「やや不足している」＋「不足している」）が上回っており、「設計担当者」では『不足している』が5割を超えている。

(2) 採用希望年代

「作業員」、「設計担当者」、「その他」では、「若手」が最も高くなっており、「作業員」では66.4%を占めている。一方、「主任作業員」、「工程管理責任者」では「中堅」が最も高くなっている。

(3) 採用希望学歴

採用を希望する学歴については、全ての職種において「学歴関係なく採用」が最も高くなっている。

(4) 技術専門学院での育成希望

「その他」を除く全ての職種で「希望する」が最も高くなっている。

問2 ものづくり系業種（NC機械による部材・部品等の製造やFA装置等の製作）の事業所の方にお聞きします。それ以外の方は4ページ問3にお進みください。

CAD/CAMを使う業務における、以下の1～7の職種ごとに、(1) 人材充足度、(2) 採用希望年代、(3) 採用を希望する学歴、(4) 当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

(1) 人材充足度

全職種において、『足りている』（「足りている」＋「やや足りている」）より、『不足している』（「やや不足している」＋「不足している」）が上回っており、「作業員」では『不足している』が5割を超えている。

(2) 採用希望年代

「作業員」では「若手」が最も高くなっており、61.6%を占めている。一方、「主任作業員」、「工

程管理責任者」、「F Aの機械設計・プログラム」では、「中堅」が最も高くなっている。また、「設計担当者」、「F Aの機械の加工・組立」では、「若手」と「中堅」が同割合で最も高くなっている。

(3) 採用希望学歴

採用を希望する学歴については、全ての職種において「学歴関係なく採用」が最も高くなっている。

(4) 技術専門学院での育成希望

「その他」を除く全ての職種で「希望する」が最も高くなっており、「作業員」では5割を超えている。

問3 ものづくり系業種（製造業全般）の事業所の方にお聞きします。貴事業所の製造現場の製造工程の中で、機械による自動化が困難な、工員の手作業でしか担えない作業（仕上作業や調整作業等）はどの程度ありますか。1つの製品が出来上がるまでの手作業工程に係る時間の全行程時間に対する割合をイメージしてお答えください。なお、その割合は厳密でなくとも概算で結構です。（いずれかに○）

自動化が困難な作業について、「かなりある」が35.2%と最も高く、次いで「そこそこある」が19.3%、「多少ある」は13.5%となっている。一方、『ない』（「それほどない」＋「ほとんどない」）は11.1%に過ぎない。

問4 問3において、「1 かなりある」、「2 そこそこある」、「3 多少はある」とお答えの方にお聞きします。それ以外の方は問6へお進みください。
その作業内容は、貴事業所の存続に関わるような「伝承すべき技術・技能」ですか。また、それは具体的にどのような内容ですか。可能な範囲でお答えください。（いずれかに○、理由を記入）

自動化が困難な作業内容について、「人の手でないと解決困難」が41.4%と最も高く、次いで「改善活動や設備投資で解決できるかわからない」が23.9%、「伝承すべき」といえるほどではなく、「設備投資さえできれば解決可能」が20.1%となっている。

問5 問4において「4 人の手でないと解決困難」とお答えいただいた方にお聞きします。
その内容について、富山県技術専門学院の職業訓練コースのカリキュラムとして盛り込まれることを希望しますか。（1つに○）

技専職業訓練コースのカリキュラムとして盛り込まれることを希望するかという問いに対して、「わからない」が38.2%と最も高く、次いで「希望しない」が37.5%となっている。「希望する」

は 19.4%であった。

問6 問5で「1 希望する」とお答えいただいた方にお聞きします。

具体的にどの科に盛り込まれることを希望しますか。(〇はいくつでも)

盛り込みを希望する科は、「金属加工科(企業実習付コース)」が78.6%と最も高く、次いで「金属ものづくり基礎科」が64.3%となっている。

問7 DX関連についてお聞きします。

貴事業所では、どのようなDX関連技術を導入されていますか。以下の1～5の技術ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの技術者の育成を希望するかどうかについてお答えください。

(1) 導入技術

導入しているDX関連技術は、「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」が42.2%と最も高く、次いで「生産データの共有システム等の導入」が35.5%、「製造装置データ収集システム等の導入」が32.6%と続いている。

(2) 人材充足度

全てのDX関連技術において、『足りている』(「足りている」+「やや足りている」)より、『不足している』(「やや不足している」+「不足している」)が上回っており3割を超えている。「AI等の活用による生産自動化」では、「わからない」が44.2%を示している。

(3) 採用希望年代

製造装置データ収集システム等の導入、「生産データの共有システム等の導入」、「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」では「若手」が最も高く、3割を超えている。また、「AI等の活用による生産管理の効率化」では「若手」と「わからない」が、「その他」では「若手」と「中堅」が同割合で最も高くなっている。「AI等の活用による生産自動化」では、「わからない」が32.0%を示している。

(4) 技術専門学院での育成希望

全てのDX関連技術において、「わからない」が最も高くなっている。

【事業者】

● 土木・建設事業所対象の調査結果

問1 土木・建設業種の事業主の方にお聞きします。以下の1～5の職種ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

(1) 人材充足度

全職種において、『足りている』（「足りている」＋「やや足りている」）より、『不足している』（「やや不足している」＋「不足している」）が上回っており、「作業員」、「主任技術者」では『不足している』が6割を超えている。「造園管理・施工技術者」では『足りている』が4.9%、『不足している』が12.7%となっている。

(2) 採用希望年代

「作業員」では、「若手」が64.8%と最も高い。一方、「主任作業員」、「主任技術者」、「設計・測量技術者」では「中堅」が最も高くなっている。「造園管理・施工技術者」では、「わからない」に次いで「若手」が高くなっている。

(3) 技術専門学院での育成希望

「作業員」、「主任作業員」、「主任技術者」、「設計・測量技術者」では「希望する」が最も高く、特に、「作業員」、「主任技術者」では5割を超えている。「造園管理・施工技術者」では、「希望する」が11.9%、「希望しない」が5.7%、「わからない」が24.7%、「無回答」が53.7%となっている。

問2 DX関連についてお聞きします。

貴事業所では、どのようなDX関連技術を導入されていますか。以下の1～6の技術ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの技術者の育成を希望するかどうかについてお答えください。

(1) 導入技術

「BIM・CAD・AIなどの技術」が66.1%と最も高く、次いで「原価管理・労務管理・人材育成などのシステムの導入」が59.5%、「ドローンの活用による測量や現場調査などの技術」が55.1%、「建設ロボット・ICT建機の導入」が51.5%と続いている。

(2) 人材充足度（※以下、「その他」はサンプル数が少ないため、分析から除く）

「BIM・CAD・AIなどの技術」、「建設ロボット・ICT建機の導入」、「ドローンの活用による測量や現場調査などの技術」では、『足りている』（「足りている」＋「やや足りている」）より、『不足している』（「やや不足している」＋「不足している」）が上回っている。一方、「原価管

理・労務管理・人材育成などのシステムの導入」では、『不足している』（「やや不足している」＋「不足している」）より『足りている』（「足りている」＋「やや足りている」）が上回っている。

なお、「人流・交通量の子測シミュレーションなどの技術」、「AR・VR・MRの技術」では、「わからない」が5割を超えている。

（3）採用希望年代

「BIM・CAD・AIなどの技術」では「若手」が、「原価管理・労務管理・人材育成などのシステムの導入」では「中堅」が最も高くなっており、それ以外の技術では、「わからない」が最も高くなっている。

（4）技術専門学院での育成希望

「BIM・CAD・AIなどの技術」では、「希望する」が48.0%と最も高く、それ以外の技術では、「わからない」が最も高くなっている。

● 介護・福祉事業所対象の調査結果

問1 介護・福祉業種の事業主の方にお聞きします。貴事業所において以下の1～6の職種について、それぞれ（1）人材充足度、（2）採用希望年代、（3）当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

（1）人材充足度

全職種において、『足りている』（「足りている」＋「やや足りている」）より、『不足している』（「やや不足している」＋「不足している」）が上回っており、「介護員」では『不足している』が44.6%となっている。

（2）採用希望年代

「介護員」、「介護福祉士」、「その他」では「若手」が最も高く、「主任介護員」、「社会福祉士」、「ケアマネージャー、認定介護福祉士」では「中堅」が最も高くなっている。

（3）技術専門学院での育成希望

全ての職種において、「希望する」が最も高く、特に、「介護員」、「主任介護員」、「介護福祉士」では、4割を超えている。

問2 DX関連についてお聞きします。貴事業所では、どのようなDX関連技術を導入されていますか。以下の1～4の技術ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの技術者の育成を希望するかどうかについてお答えください。

(1) 導入技術

「介護報酬の管理・請求業務システムの導入」が76.0%と最も高く、次いで「センサーやカメラ等による見守りシステムの導入」が66.1%、「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」が65.3%、「AI技術」が59.5%と続いている。

(2) 人材充足度 (※以下、「その他」はサンプル数が少ないため、分析から除く)

導入が進んでいる「介護報酬の管理・請求業務システムの導入」では、『足りている』(「足りている」+「やや足りている」)が63.1%となっている。一方、「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」、「AI技術」では、『不足している』(「やや不足している」+「不足している」)が3割を超えている。

(3) 採用希望年代

「介護報酬の管理・請求業務システムの導入」、「AI技術」では「中堅」が最も高く、「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」では「若手」と「中堅」が同割合となっている。

(4) 技術専門学院での育成希望

「介護報酬の管理・請求業務システムの導入」では、「希望する」が41.3%と最も高く、それ以外の技術では、「わからない」が最も高くなっている。

問3 介護福祉士実務者研修(6か月)については、当学院では施設内訓練を実施しておらず、年間2コース民間委託して実施しています。なお、民間委託の場合、受講希望者が少ないと中止になるケースもあります。このことについてどうお考えですか。お考えに近いものを選び○をつけてください。(○は1つ)

受講希望者が少なく中止になった場合、「中止になってもかまわない」が8.3%、「中止になると困る」が29.8%、「わからない」が43.0%、「その他」が3.3%となっている。

● ITベンダー事業所の調査結果

問1 IoT、AI、RPAなどDX推進に係るITベンダー事業所の方にお聞きします。以下の1～4の職種ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)採用を希望する学歴、(4)当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

(1) 人材充足度

全ての職種において、『足りている』（「足りている」＋「やや足りている」）より、『不足している』（「やや不足している」＋「不足している」）が上回っており、特に「技術作業員」、「主任技術作業員」、「技術管理者」では『不足している』が7割を超えている。

（２）採用希望年代

「技術作業員」では、「若手」が77.8%と最も高い。一方、「主任技術作業員」、「技術管理者」、「その他」では「中堅」が最も高くなっている。

（３）採用希望学歴

採用を希望する学歴については、全ての職種において「大学」が最も高くなっている。「技術作業員」では、「大学」が55.6%、「職業能力開発校」が29.6%となっている。

（４）技術専門学院での育成希望

「技術作業員」、「主任技術作業員」、「技術管理者」では「希望する」が最も高く、特に、「技術作業員」では6割を超えている。

● ビルメンテナンス事業所の調査結果

問1 ビルメンテナンス業種（設備の点検や修繕、清掃や警備など）の事業所の方にお聞きします。

以下の1～7の職種ごとに、(1) 人材充足度、(2) 採用希望年代、(3) 当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

（１）人材充足度 （※以下、サンプル数が少ないため参考値）

「清掃員」、「設備の保守管理ができる技術作業員」、「電気設備の保守管理ができる技術作業員」、「冷凍機械等の保守管理ができる技術作業員」、「その他」では、『足りている』（「足りている」＋「やや足りている」）より、『不足している』（「やや不足している」＋「不足している」）が上回っており、特に「清掃員」、「設備の保守管理ができる技術作業員」では『不足している』が5割を超えている。

（２）採用希望年代

「清掃員」では、「若手」及び「中堅」が46.2%と最も高く、幅広い年齢で人材が不足していることがうかがえる。また、「設備の保守管理ができる技術作業員」及び「電気設備の保守管理ができる技術作業員」では、「中堅」が38.5%と最も高くなっている。

（３）技術専門学院での育成希望

「清掃員」、「設備の保守管理ができる技術作業員」、「電気設備の保守管理ができる技術作業員」、「その他」では「希望する」が最も高く、特に、「設備の保守管理ができる技術作業員」では46.2%

となっている。

問2 DX関連についてお聞きします。

貴事業所では、どのようなDX関連技術を導入されていますか。以下の1～5の技術ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの技術者の育成を希望するかどうかについてお答えください。

(1) 導入技術 (※以下、サンプル数が少ないため参考値)

「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」、「センサーやカメラによるデータ取得の技術」、「AI技術」、「設備の自動制御技術」が3割を超えている。

(2) 人材充足度

「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」では、『不足している』が60.0%と最も高く、それ以外の技術において、「わからない」が最も高くなっている。

(3) 採用希望年代

「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」では、「若手」と「中堅」が最も高くなっているが、それ以外の技術では「わからない」が最も高くなっている。

(4) 技術専門学院での育成希望

「事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入」では、「希望する」が最も高くなっているが、それ以外のDX関連技術では「わからない」が最も高くなっている。

【求職者】

(1) 回答者の概要

(2) 就職に対する希望条件

問2 あなたが就職したい業種を以下の業種（1～24）から選び、番号に○を付けてください。
（○はいくつでも）

希望業種は、「医療・福祉」が19.2%と最も高く、次いで「情報通信業」が17.0%、「その他非製造業」が11.0%、「金属製品」が10.8%、「卸・小売業」が10.4%となっている。

問3 あなたが希望する職種を以下の中から選び、番号に○を付けてください。（○はいくつでも）

希望職種は、「一般事務職」が38.2%と最も高く、次いで「専門・技術職」が35.6%、「職種にこだわりはない」が17.4%となっている。

問4 問2、問3でその業種・職種を希望する理由として近いものを1つ選んでください。（いずれかに○）

業種・職種を希望する理由は、「自分の知識・技術や経験が活かせるから」が38.7%と最も高く、次いで「やりがいのある仕事にチャレンジしたいから」が22.1%、「経験したことのない分野に興味があるから」が14.1%となっている。

問5－(1) あなたが就職するにあたって、どのような情報を参考にしていますか。
該当するものすべてを選び、番号に○を付けてください。
（○はいくつでも、その他はカッコ内に記入）

就職する際に参考にする情報は、「ハローワークインターネットサービス」が80.2%と最も高く、次いで「ハローワーク」が42.7%、「求人情報誌」が41.1%となっている。

問5－(2) 上記で選んだもののうち、あなたが最も重視する情報源は何ですか。
番号でお答えください。

最も重視する情報源は、「ハローワークインターネットサービス」が41.3%と最も高く、次いで「ハローワーク」が9.8%となっている。

問6 あなたが仕事を探す上で、特に重視したいものを選び、番号に○を付けてください。
(○はいくつでも)

仕事を探す上で特に重視したいものは、「時間・休日等の就業条件」が66.1%と最も高く、次いで「適性にあった仕事」が49.1%、「収入」が47.6%、「職場環境」が43.6%、「通勤条件」が41.5%となっている。

問7 仕事を探す上で、今のあなたに足りないと思うことや必要だと思うことに近いものを選び
○をしてください。(○はいくつでも)

今足りないと思うこと、必要だと思うことは、「知識・経験」が54.4%と最も高く、次いで「スキル」が51.3%、「資格」が42.9%となっている。

問8 前ページで紹介した「富山県技術専門学院」のことについてお聞きします。求職活動として職業訓練を受講するとしたら、どのコースを受けてみたいですか。(○はいくつでも。)

受講してみたい職業訓練コースは、「パソコン事務科」が17.8%と最も高く、次いで「OA事務科(経理実践コース)」が16.8%、「ビジネス事務科(パソコン・経理コース)」が16.2%となっている。

問9 前問の選択肢の中には無いコースで、もしあったら受けたいと思うものはどれですか。(○はいくつでも。学費は無料です。)

受けたいと思うコースは、「DX・IT関連技術の作り方(プログラミングなど)が習得できる」が31.3%と最も高く、次いで「デジタル技術の活用による広報や求人活動、ネット販売の方法が習得できる」が28.4%、「DX・IT関連技術の使い方(ソフトウェアやアプリの利用法など)が習得できる」が24.9%、「CAD/CAM関連分野の技術・技能が習得できる」が20.4%、「複数の訓練科を体験できる」が19.6%、「ビルメンテナンス関連分野の技術・技能が習得できる」が15.5%となっている。「CAD/CAM関連分野の技術・技能が習得できる」と回答した「製造業」は24.9%、「建設業」は26.8%となっている。

問10 障害のある方におたずねします。 それ以外の方は問11にお進みください。
ご自身の障害の程度が、「就労に向けた職業訓練が通所等により受講できる」と思われる場合は次の問にご回答ください。
富山県技術専門学院の離職者訓練では、障害のある方の就労支援のため、障害のある方の職業訓練受講生を増やす取り組みを計画しています。
あなたが再就職に向け新たな技術や資格などを習得するなら、事務系以外の以下の内容にチャレンジしたいと思いませんか。興味のあるものに○を付けてください。
(○はいくつでも)

再就職に向けてチャレンジしたいこととして、「就業に係る基礎的技術の習得」が44.0%と最も高く、次いで「ものづくり現場技術の習得」が36.0%となっている。

問11 4ページで紹介した「富山県技術専門学院」のことについてお聞きします。あなたは、以前から「富山県技術専門学院」のことをご存じでしたか。(いずれかに○)

技術専門学院のことを知っていたかという問いに対して、「知っていた」が51.7%、「知らなかった」が46.4%であった。

問12 公共職業能力開発施設での教育訓練として、適正だと思う期間を1つ選んでください。(いずれかに○)

適正な教育訓練期間は、「6ヶ月程度」が36.6%と最も高く、次いで「3ヶ月程度」が26.4%となっている。

問13 公共職業能力開発施設での教育訓練は、どのような時間帯を希望しますか。(○はいくつでも)

教育訓練の希望時間帯は、「1日(9時~16時)」が64.0%と最も高く、次いで「半日(午前)」が30.5%となっている。

問14 公共職業能力開発施設での教育訓練のうち座学部分の受講方式について、対面授業か、リモート授業か(オンライン・オンデマンド配信による)を自分で選べるようになったら、あなたにとって受講しやすくなりますか。(○は1つ)

受講方法の選択制によって、「受講しやすくなる」が57.1%と過半数を超えており、半数以上の方にとって利便性が高まると思われる。

問15 現在、技術専門学院 新川センター（黒部市）及び砺波センター（南砺市）へのCAD系の科の設置を検討しています。もし設置されたとしたら、あなたは受講してみたいですか。（いずれかに○）

「わからない」が36.2%と最も高く、次いで「受講してみたくはない」が33.1%となっている。一方、「受講してみたい」は23.7%となっている。

問17 富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。（○はいくつでも）

効果的な広報媒体は、「市町村などの広報誌」が47.2%と最も高く、次いで「県や学院のHP」が32.1%、「YouTube」が27.0%となっている。

【高校生】

(1) 回答者の概要

(2) 就職に対する希望条件

問2 あなたが将来就職を希望する業種を2つ選んでください。(○は2つまで)

希望業種は、「まだ決めていない」が25.9%と最も高く、次いで「わからない」が18.8%となっている。業種の中では、「建設業」が11.1%と最も高く、次いで「医療・福祉」が10.0%となっている。

問3 あなたが将来就職を希望する職種を1つ選んでください。(いずれかに○)

希望職種は、「専門・技術職」が35.0%と最も高く、次いで「職種にこだわりはない」が22.8%、「生産技術・技能職」が11.4%となっている。

問4－(1) あなたが将来就職する上で、重視したい項目を選び○を付けてください。
(○はいくつでも)

就職する上で重視したいことは、「収入」が72.1%と最も高く、次いで「職場環境」が50.4%、「時間・休日等の就業条件」が47.9%、「仕事のやりがい」が47.3%となっている。

問4－(2) 上記の中で、あなたがもっとも重視する項目の番号を1つ選んで、記入してください。

就職する上で最も重視したいことは、「収入」が18.2%と最も高く、次いで「仕事のやりがい」が12.8%、「職場環境」が10.7%、「時間・休日等の就業条件」が10.4%となっている。

問5 富山県技術専門学院の3科の中で、進学先として興味のあるものを選んでください。
(いずれかに○)

興味のある学科は、「特になし」が53.2%と最も高く、次いで「電子情報科」が23.9%、「自動車整備科」が13.8%、「メカトロニクス科」が7.2%となっている。

問6 DX関連の教科を前問の2、3のコースに組み込むとしたら、DX関連でどのような内容に興味がありますか。

DX関連の教科に関する問いに対して、「わからない」が36.2%と最も高く、次いで「興味はない」が25.2%となり、全体の61.4%を占めている。興味のある内容としては、「プログラミング技

術」が 23.3%、「A I 技術」が 18.2%、「ロボット技術、F A（ファクトリーオートメーション）技術」が 11.5%となっている。

問7 問5で「4. 特になし」を選んだ方にお聞きします。

どのような科目・内容があれば進学を希望されますか。希望することを具体的に記入してください。

希望する科目は、「工芸・デザイン系学科」が 27.0%と最も高く、次いで「情報処理系学科」が 17.7%、「建築施工系学科」が 16.9%となっている。

問8 富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。（〇はいくつでも）

効果的な広報媒体は、「Instagram」が 47.3%と最も高く、次いで「Twitter」が 43.1%、「YouTube」が 39.5%となり、SNS が上位を占めている。

【修了生】

(1) 回答者の概要

(2) 就職に対する希望条件

問3 入校する以前に、富山県技術専門学院のことは何で知りましたか。(〇はいくつでも)

技術専門学院のことを何で知ったかという問いに対して、「ハローワークで知った」が70.7%と最も高く、次いで「自分で調べた」が28.5%、「パンフレットやチラシを見た」が11.4%となっている。

問4 富山県技術専門学院に入校した理由や動機は次のどれに近いですか。(〇はいくつでも)

入校した理由や動機は、「技術や技能を身につけられるから」が73.7%と最も高く、次いで「資格を取れるから」が58.6%、「訓練内容に興味があったから」が58.3%となっている。

問5 あなたが修了した訓練科の訓練期間についてどう思いますか。(いずれかに〇)

訓練期間は、「ちょうどよかった」が71.2%と最も高く、次いで「短かった」が26.5%となっている。

問6 問5で「長かった」あるいは「短かった」と回答された方にお聞きします。

【該当しない方は問7へお進みください】

あなたにとって、訓練期間はどれくらいが適当だったと思いますか。(いずれかに〇)

適当な訓練期間は、「1年間」が42.1%と最も高く、次いで「6か月間」が22.8%、「3か月間」が12.3%となっている。

問7 富山県技術専門学院に入学して良かったと思いますか。(いずれかに〇)

入学して良かったかという問いに対して、「良かったと思う」が93.2%を占めている。「良かったとは思わない」は1.3%であった。

問8 問7で「1. 良かったと思う」と回答した方にお聞きします。

【該当しない方は問9へお進みください】

良かったと思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)

良かったと思う理由は、「技術や技能が身についた」が79.7%と最も高く、次いで「資格が取れた」が67.5%、「いい先生や仲間に出会えた」が64.5%となっている。

問9 問7で「3. 良かったとは思わない」と回答した方にお聞きします。

【該当しない方は問10へお進みください】

良くなかった理由を教えてください。(〇はいくつでも)

良くなかった理由は、「技術や技能が身につかなかった」が80.0%と最も高くなっている。

問10 富山県技術専門学院在籍中又は修了後に取得して良かった、仕事に役に立ったと思う資格はありますか。(〇はいくつでも)

「修了後に取得した資格はない」が最も高かったが、取得して良かった、仕事に役に立ったと思う資格は、「日商簿記検定」が20.2%、次いで「介護職員初任者研修」が16.4%、「秘書検定」が15.2%となっている。

問11 富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

効果的な広報媒体は、「市町村などの広報誌」が49.0%と最も高く、次いで「県や学院のHP」が38.6%、「YouTube」が25.0%、「Instagram」が23.5%、「求職者・企業へのDM」が22.2%となっている。

問3 貴事業所全体における人材の過不足感についてお聞きします。

貴事業所において、現場の職種（事務職、営業・販売職、専門技術職、技能職）の人材は足りていますか。該当するものに○を付けてください。（いずれかに○）

1 十分足りている	}	→ 次のページへ
2 まあ足りている		
3 今後は不足しそうだ	}	→ 問4へ
4 やや不足している		
5 かなり不足している		

問4 問3において「3 今後は不足しそうだ」、「4 やや不足している」、「5 かなり不足している」とお答えの方にお聞きします。それ以外の方は次のページへお進みください。

特にどのような年齢層の人材が不足している又は今後不足しそうですか。（○はいくつでも）

1 若手層
2 中堅層
3 中高年齢者層

問5 問3において「3 今後は不足しそうだ」、「4 やや不足している」、「5 かなり不足している」とお答えの方にお聞きします。不足している又は今後不足しそうなのは具体的にどの職種ですか。

選択肢に○を付けてください。（○はいくつでも）

1 事務職
2 営業・販売職
3 専門技術職
4 技能職
5 その他（ ）

引き続き、次のページにお進みください。

富山県技術専門学院とは？

県立の職業能力開発校です。
“県技専”と略して呼ばれます。

就業のために必要な職業スキルや知識などを習得できる「公共職業訓練」等を実施しています。

県内には国立のポリテクセンター富山・北陸ポリテクカレッジの2校に加え、県立の技術専門学院が3施設あります。

3施設のうち、県技専本校では学卒者向けの3科及び離職者向けの6科9コース、新川センターでは3科4コース、砺波センターでは3科を設置しています。

富山県技術専門学院 本校

対象	科名	定員	期間	開始月	
学卒者	自動車整備科	20	2年	4月	
	メカトロニクス科	20			
	電子情報科	20			
離職者	金属加工科（企業実習付コース）	10	1年	4月	
	金属ものづくり基礎科	10	6ヶ月	4,10月	
	造園管理科	20	6ヶ月	3,8月	
	環境エネルギー設備科（企業実習付コース）	（配管・電気コース）	10	1年	3月
			10	6ヶ月	3月
			10	6ヶ月	9月
	木材加工科（企業実習付コース）	（一般コース）	10	1年	7月
			10	6ヶ月	7,12月
〇A事務科（販売実務コース）	（経理実践コース）	20	4ヶ月	4月	
				7月	
				12月	



富山県技術専門学院 砺波センター

対象	科名	定員	期間	開始月
離職者	パソコン事務科	10	4ヶ月	4,12月
	簿記・会計科	10	4ヶ月	7月
	介護サービス科	20	2ヶ月	5,9月

富山県技術専門学院 新川センター

対象	科名	定員	期間	開始月	
離職者	エコ住宅リフォーム科（企業実習付コース）	10	1年	4月	
		10	6ヶ月	4,10月	
	ビジネス実務科（パソコン・経理コース）	（会計実務コース）	20	4ヶ月	4,12月
			10	4ヶ月	7月
介護サービス科	20	2ヶ月	5,10月		

科の設置ニーズやカリキュラムについて

問6 貴事業所において、富山県技術専門学院の受講経験者を採用したことはありますか。(1つに○)

- 1 採用したことがある ⇒ 問7へ
- 2 採用したことが無い ⇒ 問8へ

問7 問6で「1 採用したことがある」と回答した事業所にお聞きします。

- ① 以下の1~21のうち、採用経験があるコースのコース番号に○をつけてください。
(○はいくつでも。※科名が以下と異なる場合は同系統の科を選んでください。)
- ② また、採用のあったコースについては、過去10年間(2001年(平成13年)以降)の採用人数のおおまかな総計についても回答欄にご記入ください。
- ③ 採用のあったコースについて、訓練カリキュラムの満足度を教えてください。

① 番号	コース名	②10年 間の採 用人数	③カリキュラム満足度 (1.満足、2.やや満足、3.ど ち らでもない、4.やや不満、5. 不満)
1	自動車整備科【2年間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
2	メカトロニクス科【2年間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
3	電子情報科【2年間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
4	金属加工科(企業実習付コース)【1年間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
5	金属ものづくり基礎科【6ヵ月】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
6	造園管理科【6ヵ月】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
7	環境エネルギー設備科(企業実習付コース)【1年間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
8	環境エネルギー設備科(配管・電気コース)【6ヵ月】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
9	環境エネルギー設備科(配管・制御コース)【6ヵ月】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
10	木材加工科(企業実習付コース)【1年間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
11	木材加工科(一般コース)【6ヵ月】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
12	エコ住宅リフォーム科(企業実習付コース)【1年間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
13	エコ住宅リフォーム科(一般コース)【6ヵ月】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
14	ビジネス事務科(パソコン・経理コース)【4ヵ月間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
15	ビジネス事務科(会計事務コース)【4ヵ月間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
16	OA事務科(販売事務コース)【4ヵ月間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
17	OA事務科(経理実践コース)【4ヵ月間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
18	OA事務科(生産事務コース)【4ヵ月間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
19	パソコン事務科【4ヵ月間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
20	簿記・会計科【4ヵ月間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
21	介護サービス科【2ヵ月間】	___名	1 . . . 2 . . . 3 . . . 4 . . . 5
22	いままで採用した職業訓練コースはない	—	
23	わからない	—	

問8 問6で「2 採用したことが無い」と回答した事業所にお聞きします。

これまで富山県技術専門学院のことをご存じでしたか。(1つに○)

1 知っていた	
2 知らなかった	
3 その他 ()

問9 富山県技術専門学院における職業訓練の設定コースについてお聞きします。以下のコースのうち、貴事業所において役に立つと思う職業訓練コースをすべて選び、その番号に○を付けてください。

(すでに採用実績のあるコースも含めてお答えください。○はいくつでも)

科名	訓練期間	訓練内容	学費	
1 自動車整備科	2年間	2級自動車整備士の養成	64,800円/年	
2 メカトロニクス科	2年間	機械操作や制御技術など生産現場の技術者養成		
3 電子情報科	2年間	ソフトウェア技術など高度情報技術者の養成		
4 金属加工科 (企業実習付コース)	1年間	溶接技能者、板金技術者の養成	無料	
5 金属ものづくり基礎科	6ヵ月間	溶接技能者、板金技術者の養成		
6 造園管理科	6ヵ月間	樹木管理技能者、造園技術者の養成		
7 環境エネルギー設備科 (企業実習付コース)	1年間	配管技能者、建築設備技術者の養成		
8 環境エネルギー設備科 (配管・電気コース)	6ヵ月間	配管技能者、建築設備技術者の養成		
9 環境エネルギー設備科 (配管・制御コース)	6ヵ月間	配管技能者、建築設備技術者の養成		
10 木材加工科 (企業実習付コース)	1年間	木製家具・建具製作技能者の養成		
11 木材加工科 (一般コース)	6ヵ月間	木製家具・建具製作技能者の養成		
12 エコ住宅リフォーム科 (企業実習付コース)	1年間	大工技能者、内装施工技術者の養成		
13 エコ住宅リフォーム科 (一般コース)	6ヵ月間	大工技能者、内装施工技術者の養成		
14 ビジネス事務科 (パソコン・経理コース)	4ヵ月間	PC操作、経理等の事務員養成		
15 ビジネス事務科 (会計事務コース)	4ヵ月間	会計実務、PC操作等の事務員養成		
16 ○A事務科 (販売事務コース)	4ヵ月間	販売、簿記、PC操作等の事務員養成		
17 ○A事務科 (経理実践コース)	4ヵ月間	会計実務、PC操作等の事務員養成		
18 ○A事務科 (生産事務コース)	4ヵ月間	原価計算を含む会計実務、PC操作等の事務員養成		
19 パソコン事務科	4ヵ月間	PC操作、社会保険事務等の事務員養成		
20 簿記・会計科	4ヵ月間	簿記、会計実務等の事務員養成		
21 介護サービス科	2ヵ月間	介護職員(初任者)研修修了等の介護職員養成		
22 その他(具体的に:)
23 役に立つと思う職業訓練コースは無い				
24 わからない				

問10 現在、ものづくり系の科（金属加工関連など製造業関連の科）については、富山県技術専門学院新川センター（黒部市）や砺波センター（南砺市）には設置していません。たとえば新川センター及び砺波センターにCAD関連科を設置するという案についてどうお考えですか。それぞれの施設において、お考えに近いものを選んで○を付けてください。（それぞれ1つに○）

富山県技術専門学院新川センター（黒部市）	富山県技術専門学院砺波センター（南砺市）
1 設置すべき	8 設置すべき
2 どちらかといえば設置すべき	9 どちらかといえば設置すべき
3 どちらともいえない	10 どちらともいえない
4 どちらかといえば設置すべきではない	11 どちらかといえば設置すべきではない
5 設置すべきではない	12 設置すべきではない
6 わからない	13 わからない
7 その他（ ）	14 その他（ ）

問11 富山県技術専門学院の受講経験者を採用する場合に、貴事業所の所在地エリアに富山県技術専門学院があれば、採用活動はしやすいですか。（1つに○）

1 しやすい
2 あまり影響はない
3 わからない
4 その他（ ）

問12 貴事業所に早期退職制度がありますか。（1つに○）

- 1 はい 2 いいえ 3 わからない 4 その他（ ）



問14へ

問13 早期退職制度があると答えた事業所におたずねします。

希望者への再就職支援として、公共職業能力開発施設の入校案内を提供するなどの情報提供を行っていますか。また、今後行いたいと思いませんか（1つに○）

1 行っている
2 行っていないが今後は行いたい
3 行っていないが今後は行うかもしれない
4 行なっていないし今後もし行う予定はない
5 わからない
6 その他（ ）

問14 富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。（○はいくつでも）

1 Twitter	2 Instagram	3 YouTube
4 LINE	5 FaceBook	6 県や学院のHP
7 市町村などの広報誌	8 フリーペーパー	9 パンフレット配布
10 ポスター掲示	11 求職者・企業へのDM	12 TV・ラジオCM
13 イベント開催	14 ラッピング広告	15 ノベルティグッズ配布
16 わからない	17 その他（ ）	

問15 貴事業所では、生産性向上などを目的として、データとデジタル技術の活用を進める等のDX[※]導入に取り組んでいますか。該当する番号に○をつけてください。(1つに○)

1 既に取り組んでいる	—————>	貴事業所の具体的な取り組みについて教えてください。
2 今後取り組みたい		[]
3 取り組む予定はない		
4 自社の業態には関係ない		
5 わからない		
6 その他 ()		

※ DX【Digital Transformation】企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革すること。業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立できる。

問16 問15において、「1 既に取り組んでいる」、「2 今後取り組みたい」と回答した事業所にお聞きします。それ以外の方は問17へお進みください。

DX推進のために、中心となり取り組める人材（デジタル人材）は足りていますか。該当するものに○をつけてください。(1つに○)

1 十分足りている
2 まあ足りている
3 今後は不足しそうだ
4 やや不足している
5 かなり不足している

問17 デジタル技術の活用による広報（SNSを活用した広報）や求人活動（オンライン採用など）、ネット販売（ECサイトを活用した販売など）に取り組んでいますか。該当する番号に○をつけてください。(1つに○)

1 既に取り組んでいる	—————>	貴事業所の具体的な取り組みについて教えてください。
2 今後取り組みたい		[]
3 取り組む予定はない		
4 自社の業態には関係ない		
5 わからない		
6 その他 ()		

問18 問17において、「1 既に取り組んでいる」、「2 今後取り組みたい」と回答した事業所にお聞きします。それ以外の方は問19へお進みください。

デジタル技術の活用による広報（SNSを活用した広報）や求人活動（オンライン採用など）、ネット販売（ECサイトを活用した販売など）のために、中心となり取り組める人材は足りていますか。該当するものに○をつけてください。(1つに○)

1 十分足りている
2 まあ足りている
3 今後は不足しそうだ
4 やや不足している
5 かなり不足している

引き続き、次のページにお進みください。

問19 富山県技術専門学院が実施する公共職業訓練について、新たに必要な訓練コースや既存の訓練コースへのご意見・ご要望がございましたら記入してください。

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

ものづくり系業種の人材について

問1 ものづくり系業種（製品・部品の図面をCADにて作成している製造業）の事業所の方にお聞きします。それ以外の方は次ページ問2にお進みください。

CADを使う業務における、以下の1～5の職種ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)採用を希望する学歴、(4)当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)この職種で採用を希望する学歴 (○はいくつでも)	(4)今後、当学院にこの職種の育成を希望するか (○は1つ)
1 作業員 (見習い、CADの操作ができる)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 主任作業員 (リーダー的役割、CADの操作、品質管理、設備保全ができる)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 工程管理責任者 (CADによる製図、高度な熟練技能がある、生産工程の合理化ができる)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
4 設計担当者 (CADによる製品設計、強度計算等、デザイン等ができる)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

次ページへ続く

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2) この職種におけ る、採用希望年代 (○はいくつでも)	(3) この職種で採用 を希望する学歴 (○はいくつでも)	(4) 今後、当学院 にこの職種の育成 を希望するか (○は1つ)
5 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

問2 ものづくり系業種（NC機械による部材・部品等の製造やFA装置等の製作）の事業所の方にお聞きします。それ以外の方は4ページ問3にお進みください。

CAD/CAMを使う業務における、以下の1～7の職種ごとに、(1) 人材充足度、(2) 採用希望年代、(3) 採用を希望する学歴、(4) 当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2) この職種におけ る、採用希望年代 (○はいくつでも)	(3) この職種で採用 を希望する学歴 (○はいくつでも)	(4) 今後、当学院 にこの職種の育成 を希望するか (○は1つ)
1 作業員 (見習い、NC機械の操作ができる)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他(対象外) ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 主任作業員 (リーダー的役割、品質管理、設備保全ができる)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他(対象外) ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 工程管理責任者 (高度な熟練技能がある、生産工程の合理化ができる)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他(対象外) ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

次ページへ続く

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2) この職種におけ る、採用希望年代 (○はいくつでも)	(3) この職種で採用 を希望する学歴 (○はいくつでも)	(4) 今後、当学院 にこの職種の育 成を希望するか (○は1つ)
4 設計担当者 (NCプログラミング、強度計算 等、デザイン等が できる)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他(対象外) ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
5 FAの機械設 計・プログラム(シ ーケンス)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他(対象外) ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
6 FAの機械の 加工・組立(メン テナンス含む)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他(対象外) ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
7 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

引き続き、次のページにお進みください。

問3 **ものづくり系業種（製造業全般）の事業所の方**にお聞きします。貴事業所の製造現場の製造工程の中で、機械による自動化が困難な、工員の手作業でしか担えない作業（仕上作業や調整作業等）はどの程度ありますか。1つの製品が出来上がるまでの手作業工程に係る時間の全行程時間に対する割合をイメージしてお答えください。なお、その割合は厳密でなくとも概算で結構です。（いずれかに○）

1	かなりある（60%以上）	}	→ 問4へ
2	そこそこある（40%以上～60%未満）		
3	多少はある（20%以上～40%未満）		
4	それほどない（1%以上～20%未満）	}	→ 問7へ
5	ほとんどない（1%未満）		

問4 問3において、「1 かなりある」、「2 そこそこある」、「3 多少はある」とお答えの方にお聞きします。それ以外の方は問6へお進みください。その作業内容は、貴事業所の存続に関わるような「伝承すべき技術・技能」ですか。また、それは具体的にどのような内容ですか。可能な範囲でお答えください。（いずれかに○、理由を記入）

1	「伝承すべき」といえるほどではなく、改善活動の徹底等で解決可能	
2	「伝承すべき」といえるほどではなく、設備投資さえできれば解決可能	
3	改善活動や設備投資で解決できるかわからない	
4	人の手でないと解決困難。	→ 問5へ
(以下に理由を記入)		
[]		

問5 問4において「4 人の手でないと解決困難」とお答えいただいた方にお聞きします。その内容について、富山県技術専門学院の職業訓練コースのカリキュラムとして盛り込まれることを希望しますか。（1つに○）

1	希望する	→ 問6へ
2	訓練コースの新設を希望する	→ カリキュラムの概要を記入
3	希望しない	[]
4	わからない	
5	その他（)	

問6 問5で「1 希望する」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的にどの科に盛り込まれることを希望しますか。（○はいくつでも）

1	メカトロニクス科【2年間】	
2	金属加工科（企業実習付コース）【1年間】	
3	金属ものづくり基礎科【6ヵ月間】	
4	木材加工科（企業実習付コース）【1年間】	
5	木材加工科（一般コース）【6ヵ月間】	
6	その他（)	

問7 DX関連についてお聞きします。

貴事業所では、どのようなDX関連技術を導入されていますか。以下の1～5の技術ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの技術者の育成を希望するかどうかについてお答えください。

DX関連技術 (導入しているものに○)	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 技術者の育成を希望す るか(○は1つ)
1 製造装置データ収集システム等の導入 (外付け監視システム等による稼働率改善など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 AI等の活用による生産自動化 (職人の動作データ等をAI分析し生産自動化など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 AI等の活用による生産管理の効率化 (効率的な生産計画の作成など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
4 生産データの共有システム等の導入 (製造装置、原材料、部品等のデジタルデータを企業間で共有)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
5 事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入 (職種ごとの賃金計算、生産管理情報の電子化など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

DX関連技術 (導入しているものに○)	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 技術者の育成を希望す るか(○は1つ)
6 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

問8 ものづくり系人材の育成について、ご意見・要望がありましたら自由にご記入ください。

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

土木・建設分野の人材について

問1 土木・建設業種の事業主の方にお聞きします。以下の1～5の職種ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 職種の育成を希望する か(○は1つ)
1 作業員 (見習い、一般作業員)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 主任作業員 (リーダー的役割)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 主任技術者 (見習い、施工管理技士 など有資格者)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
4 設計・測量技術者 (見習い、建築士・技術 士など有資格者)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

次ページに続く

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 職種の育成を希望する か(○は1つ)
5 造園管理・施工技術者 (造園土木工事、緑地管理など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
6 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

問2 DX関連についてお聞きします。

貴事業所では、どのようなDX関連技術を導入されていますか。以下の1～6の技術ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの技術者の育成を希望するかどうかについてお答えください。

DX関連技術 (導入しているものに○)	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 技術者の育成を希望する か(○は1つ)
1 BIM・CAD・AI などの技術	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 建設ロボット・ICT 建機の導入	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

次ページに続く

DX関連技術 (導入しているものに○)	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 技術者の育成を希望す るか(○は1つ)
3 ドローンの活用による 測量や現場調査などの 技術	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
4 人流・交通量の予測シ ミュレーションなどの 技術	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
5 原価管理・労務管理・ 人材育成などのシステ ムの導入	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
6 AR・VR・MRの技 術	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
7 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

問3 土木・建設分野の人材の育成について、ご意見・ご要望がありましたら自由にご記入ください。

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

介護・福祉分野の人材について

問1 介護・福祉業種の事業主の方にお聞きします。貴事業所において以下の1～6の職種について、それぞれ(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 職種の育成を希望する か(○は1つ)
1 介護員 (見習い、介護職員初任 者研修修了者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 主任介護員 (リーダー的役割、介護 福祉士実務者研修修了者 など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 介護福祉士 (見習い、有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
4 社会福祉士 (見習い、有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
5 ケアマネージャー、認 定介護福祉士 (見習い、有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

次ページに続く

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 職種の育成を希望する か(○は1つ)
6 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

問2 DX関連についてお聞きします。貴事業所では、どのようなDX関連技術を導入されていますか。以下の1～4の技術ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの技術者の育成を希望するかどうかについてお答えください。

DX関連技術 (導入しているものに○)	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 技術者の育成を希望する か(○は1つ)
1 事務作業の自動化やペーパーレス化のシステムの導入 (職種ごとの賃金計算、入所者情報の電子化など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 介護報酬の管理・請求業務システムの導入	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 AI技術 (AI学習によるケアプラン作成、訪問計画作成支援など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
4 センサーやカメラ等による見守りシステムの導入 (巡回業務の効率化など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

次ページに続く

DX関連技術 (導入しているものに○)	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 技術者の育成を希望す るか(○は1つ)
5 その他 〔 〕	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 〔 〕

問3 介護福祉士実務者研修(6か月)については、当学院では施設内訓練を実施しておらず、年間2コース民間委託して実施しています。なお、民間委託の場合、受講希望者が少ないと中止になるケースもあります。このことについてどうお考えですか。お考えに近いものを選び○をつけてください。(○は1つ)

1 中止になってもかまわない 2 中止になると困る 3 わからない 4 その他()

問4 介護・福祉分野の人材の育成について、ご意見・ご要望がありましたら自由にご記入ください。

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

DX推進に係る技術開発人材について

問1 IoT、AI、RPAなどDX推進に係るITベンダー事業所の方にお聞きします。

以下の1～4の職種ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)採用を希望する学歴、(4)当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)この職種で採用を希望する学歴 (○はいくつでも)	(4)今後、当学院にこの職種の育成を希望するか (○は1つ)
1 技術作業員 (基本情報技術者、ITパスポート、AWSクラウドプラクティショナー等の有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 主任技術作業員 (応用情報技術者、AI実装検定等の有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 技術管理員 (プロジェクトマネージャー(情報処理技術者試験)、ITストラテジスト等の有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
4 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他 ()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 高卒以下 2 職業能力開発校 3 高専 4 大学 5 大学院 6 学歴関係なく採用 7 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

問2 DX人材の育成について、ご意見・要望がありましたら自由にご記入ください。

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

ビルメンテナンス業種の人材について

問1 ビルメンテナンス業種（設備の点検や修繕、清掃や警備など）の事業所の方にお聞きします。

以下の1～7の職種ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの職種の育成を希望するかどうかについてお答えください。

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 職種の育成を希望する か(○は1つ)
1 清掃員 (ビルクリーニング技能士等の有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 設備の保守管理ができる技術作業員 (ビル設備管理技能士等の有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 電気設備の保守管理ができる技術作業員 (第二種電気工事士等の有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
4 冷凍機械等の保守管理ができる技術作業員 (第三種冷凍機械責任者等の有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
5 引火性の高い液体の保守管理ができる作業員 (危険物乙種第4類危険物取扱者等の有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

職種	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 職種の育成を希望する か(○は1つ)
6 ボイラー設備の保守 管理ができる作業員 (二級ボイラー技士等の 有資格者など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
7 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

問2 DX関連についてお聞きします。

貴事業所では、どのようなDX関連技術を導入されていますか。以下の1～5の技術ごとに、(1)人材充足度、(2)採用希望年代、(3)当学院にこの技術者の育成を希望するかどうかについてお答えください。

DX関連技術 (導入しているものに○)	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 技術者の育成を希望す るか(○は1つ)
1 事務作業の自動化やペ ーパーレス化のシステ ムの導入 (職種ごとの賃金計算、管 理情報の電子化など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
2 センサーやカメラによ るデータ取得の技術 (混雑状況などのほか、温 度や湿度、二酸化炭素、 照度など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
3 AI技術 (取得したデータのAI 分析による管理メンテ ナンスの予測など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

次ページへ続く

DX関連技術 (導入しているものに○)	(1)人材充足度 (○は1つ)	(2)この職種における、 採用希望年代 (○はいくつでも)	(3)今後、当学院にこの 技術者の育成を希望す るか(○は1つ)
4 設備の自動制御技術 (空調や照明等を自動制 御する機能など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
5 設備の点検技術 (スマートメーター・ IoT技術の活用によ 効率化、省人化など)	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()
6 その他 ()	1 足りている 2 やや足りている 3 どちらともいえない 4 やや不足している 5 不足している 6 わからない 7 その他()	1 若手 2 中堅 3 中高年 4 年齢関係なく採用 5 わからない 6 その他 ()	1 希望する 2 希望しない 3 わからない 4 その他 ()

問3 ビルメンテナンスに係る人材の育成について、ご意見・要望がありましたら自由にご記入ください。

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

富山県技術専門学院ニーズ調査

問1 あなた自身のことについて、ご記入又は該当する番号に○をつけてください。

性別 (任意)	1. 男 2. 女	年齢	歳	住所	市・町・村
これまでの 通算勤続年数	年	最終役職	1. 一般社員 2. 主任クラス 3. 係長クラス 4. 課長クラス 5. 部次長以上クラス 6. パート 7. アルバイト 8. 派遣 9. その他 ()		
離職時期	1. 1ヵ月以内 2. 3ヵ月以内 3. 半年以内 4. 1年以内 5. 1年より前 6. 在職中 7. その他 ()				
求職活動開始時期	1. 1ヵ月以内 2. 3ヵ月以内 3. 半年以内 4. 1年以内 5. 1年より前 6. 在職中 7. その他 ()				
勤務経験 ※直近のものを記入	業種	製造業	1. 食料品 2. 繊維製品関連 3. 木材・家具 4. パルプ・紙加工品 5. 印刷 6. 窯業・土石製品製造業 7. 化学(医薬)・プラスチック 8. 金属製品 9. 一般機械 10. 電子部品・デバイス 11. 電気機械 12. 輸送機械 13. 精密機械 14. その他製造業 ()		
		非製造業	15. 運輸業 16. 建設業 17. 卸・小売業 18. 金融保険業 19. 電気・ガス・熱供給業 20. 情報通信業 21. 医療・福祉 22. 宿泊業・飲食サービス業 23. その他サービス業 (以下のいずれかに○) 231. ビルメンテナンス業 232. ビルメンテナンス業以外 24. その他非製造業 ()		
	職種	1. 事務職 2. 営業・販売職 3. 専門技術職 4. 技能職 5. その他 ()			
	勤務先業所の 従業員数	1. 9人以下 2. 10～29人 3. 30～49人 4. 50～99人 5. 100～299人 6. 300人以上			
最後に通った学校	1. 中学校 2. 高校 3. 短大 4. 専門学校 5. 高専 6. 大学 7. 大学院 8. その他 ()				
卒業したかどうか	あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。 1. 卒業 2. 中退 3. その他 ()				
最後に学校を卒業 または中退した年	西暦 _____年 (または 昭和・平成・令和 _____年 (該当する年号に○))				
同居している子	以下の質問は、子育て中の方への支援の参考にさせていただくため、同居しておられる <u>20歳未満のお子さん</u> のことについて伺います。(該当するお子さんがいらっしゃらない場合は0人とお書きください。) 同居している <u>20歳未満</u> の子ども数 _____人 うち、 <u>小学生以下</u> の子ども数 _____人 (一番下の子どもの年齢 _____歳)				

次ページへ続く

問5 (1) あなたが就職するにあたって、どのような情報を参考にしていますか。該当するものすべてを選び、番号に○を付けてください。(○はいくつでも、その他はカッコ内に記入)

SNS		
1. ツイッター	2. インスタグラム	3. フェイスブック
4. ユーチューブ	5. その他SNS ()
ウェブサイト		
6. ハローワークインターネットサービス	7. 派遣会社	8. 企業等
9. その他ウェブサイト ()	
フリーペーパー		
10. 求人情報誌	11. 折込チラシ	12. 新聞紙面広告
13. その他フリーペーパー類 ()	
広報誌		
14. 県広報誌	15. 市町村広報誌	16. その他広報誌 (
)		
ポスター掲示		
17. ハローワーク	18. スーパーマーケット	19. コンビニエンスストア
20. 公民館	21. 体育館	22. 駅
23. 電車内・バス車内	24. ショッピングモール	25. その他 (
)		
CM		
26. テレビ	27. ラジオ	28. その他 (
)		
説明会等		
29. 企業説明会	30. 企業面接会	31. 就業体験会
32. その他の説明会 ()	
その他の経路		
33. 口コミ・知人や家族からの紹介	34. その他 (
)		

(2) 上記で選んだもののうち、あなたが最も重視する情報源は何ですか。番号でお答えください。_____

問6 あなたが仕事を探す上で、特に重視したいものを選び、番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

1. 正社員・非正社員の区分	2. 収入	3. 適性にあった仕事
4. 時間・休日等の就業条件	5. 通勤条件	6. 仕事のやりがい
7. 仕事のハード具合(労働密度)	8. 職場環境	9. 仕事の外観(世間体等)
10. 知識や経験が活かせること	11. 安定して長く働けること	
12. その他 ()	

問7 仕事を探す上で、今のあなたに足りないと思うことや必要だと思うことに近いものを選び○をしてください。(○はいくつでも)

1. 知識・経験	2. スキル	3. 資格
4. 学歴	5. 自由な時間	6. 求職活動資金
7. 身内の理解	8. 気力・体力	9. 目標
10. 特にない		
11. その他(具体的に:)	

引き続き、次のページにお進みください。

富山県技術専門学院とは？

県立の職業能力開発校です。
“県技専”と略して呼ばれます。

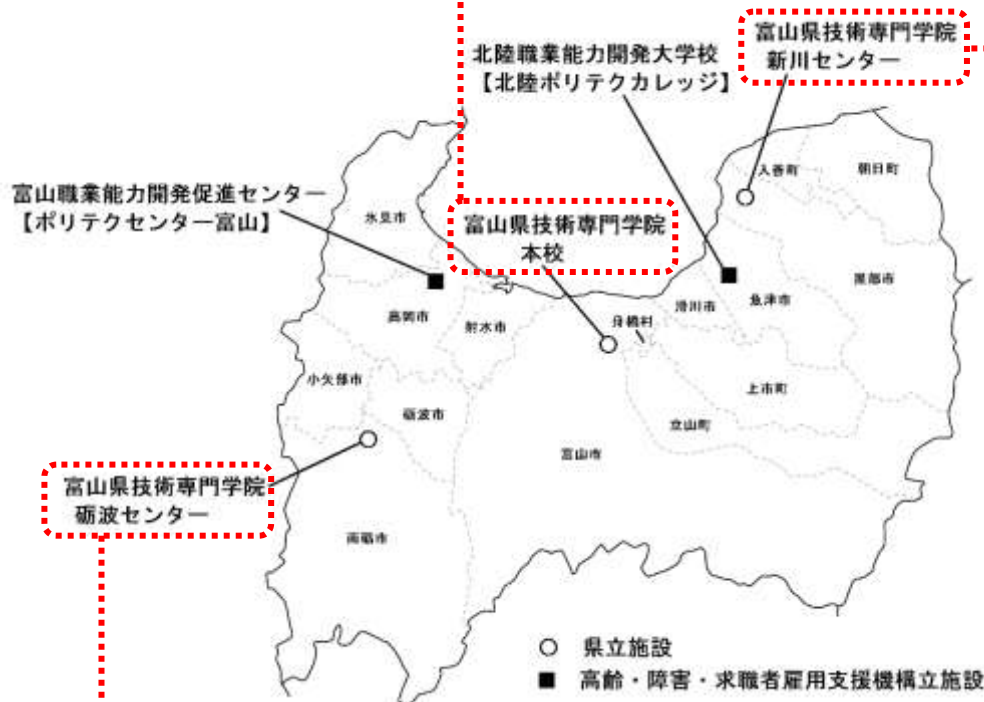
就業のために必要な職業スキルや知識などを習得できる「公共職業訓練」等を実施しています。

県内には国立のポリテクセンター富山・北陸ポリテクカレッジの2校に加え、県立の技術専門学院が3施設あります。

3施設のうち、県技専本校では学卒者向けの3科及び離職者向けの6科9コース、新川センターでは3科4コース、砺波センターでは3科を設置しています。

富山県技術専門学院 本校

対象	科名	定員	期間	開始月	
学卒者	自動車整備科	20	2年	4月	
	メカトロニクス科	20			
	電子情報科	20			
離職者	金属加工科（企業実習付コース）	10	1年	4月	
	金属ものづくり基礎科	10	6ヶ月	4,10月	
	造園管理科	20	6ヶ月	3,8月	
	環境エネルギー設備科（企業実習付コース）	（配管・電気コース）	10	1年	3月
			10	6ヶ月	3月
			10	6ヶ月	9月
	木材加工科（企業実習付コース）	（一般コース）	10	1年	7月
			10	6ヶ月	7,12月
	〇A事務科（販売実務コース）	（経理実践コース）	20	4ヶ月	4月
20			4ヶ月	7月	
20			4ヶ月	12月	



富山県技術専門学院 新川センター

対象	科名	定員	期間	開始月	
離職者	エコ住宅リフォーム科（企業実習付コース）	10	1年	4月	
		10	6ヶ月	4,10月	
	ビジネス実務科（パソコン・経理コース）	（会計実務コース）	20	4ヶ月	4,12月
			10	4ヶ月	7月
介護サービス科	20	2ヶ月	5,10月		

富山県技術専門学院 砺波センター

対象	科名	定員	期間	開始月
離職者	パソコン事務科	10	4ヶ月	4,12月
	簿記・会計科	10	4ヶ月	7月
	介護サービス科	20	2ヶ月	5,9月

問8 前ページで紹介した「富山県技術専門学院」のことについてお聞きます。求職活動として職業訓練を受講するとしたら、どのコースを受けてみたいですか。(〇はいくつでも。)

※技専・ポリカで現在受講中の方は、次に機会があれば受けてみたいものを選んでください。

科名	訓練期間	訓練内容	学費
1. 自動車整備科	2年間	2級自動車整備士の養成	64,800円/年
2. メカトロニクス科	2年間	機械操作や制御技術など生産現場の技術者養成	
3. 電子情報科	2年間	ソフトウェア技術など高度情報技術者の養成	
4. 金属加工科 (企業実習付コース)	1年間	溶接技能者、板金技術者の養成	無料
5. 金属ものづくり基礎科	6ヵ月間	溶接技能者、板金技術者の養成	
6. 造園管理科	6ヵ月間	樹木管理技能者、造園技術者の養成	
7. 環境エネルギー設備科 (企業実習付コース)	1年間	配管技能者、建築設備技術者の養成	
8. 環境エネルギー設備科 (配管・電気コース)	6ヵ月間	配管技能者、建築設備技術者の養成	
9. 環境エネルギー設備科 (配管・制御コース)	6ヵ月間	配管技能者、建築設備技術者の養成	
10. 木材加工科 (企業実習付コース)	1年間	木製家具・建具製作技能者の養成	
11. 木材加工科 (一般コース)	6ヵ月間	木製家具・建具製作技能者の養成	
12. エコ住宅リフォーム科 (企業実習付コース)	1年間	大工技能者、内装施工技術者の養成	
13. エコ住宅リフォーム科 (一般コース)	6ヵ月間	大工技能者、内装施工技術者の養成	
14. ビジネス事務科 (パソコン・経理コース)	4ヵ月間	PC操作、経理等の事務員養成	
15. ビジネス事務科 (会計事務コース)	4ヵ月間	会計実務、PC操作等の事務員養成	
16. OA事務科 (販売事務コース)	4ヵ月間	販売、簿記、PC操作等の事務員養成	
17. OA事務科 (経理実践コース)	4ヵ月間	会計実務、PC操作等の事務員養成	
18. OA事務科 (生産事務コース)	4ヵ月間	原価計算を含む会計実務、PC操作等の事務員養成	
19. パソコン事務科	4ヵ月間	PC操作、社会保険事務等の事務員養成	
20. 簿記・会計科	4ヵ月間	簿記、会計実務等の事務員養成	
21. 介護サービス科	2ヵ月間	介護職員(初任者)研修修了等の介護職員養成	
22. その他(具体的に:)			
23. 役に立つと思う職業訓練コースは無い			
24. わからない			

引き続き、次のページにお進みください。

問9 前問の選択肢の中には無いコースで、もしあったら受けてみたいと思うものはどれですか。(○はいくつでも。学費は無料です。)

1. DX^{※1}・IT関連技術の使い方(ソフトウェアやアプリの利用法など)が習得できる
(ロボット等による生産性向上、データのAI^{※2}による分析、RPA^{※3}を使った業務改善、ZOOM等によるWeb会議、AR/VRの活用など)
2. DX・IT関連技術の作り方(プログラミングなど)が習得できる
(Webサイト構築、AIプログラミング、RPAプログラミング、センターにより各種データをセンシングするシステムの構築、ネットワーク構築、AR/VRプログラミングなど)
3. デジタル技術の活用による広報や求人活動、ネット販売の方法が習得できる
(SNSを活用した広報、ECサイトを利用した販売など)
4. 土木・建設分野の技術・技能が習得できる
(測量技術、構造物の構造、設計、施工など)
5. ビルメンテナンス関連分野の技術・技能が習得できる
(清掃、ビル設備、電気設備、冷凍機械等、危険物取扱、ボイラー設備等の保守管理など)
6. CAD/CAM関連分野の技術・技能が習得できる
(2次元CADによる図面作成、3次元CADによるモデリング、NCプログラミングなど)
7. 複数の訓練科を体験できる
(任意又は定められた受講期間中に、問8の選択肢のうち複数のコースを体験するなど)
8. 特にない
9. わからない
10. その他()

※1 **DX【Digital Transformation】**

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革すること。業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立できる。

※2 **AI【Artificial Intelligence】**

人工知能のことで、人間が指示を与えなくても論理的な推論をしたり、経験から学習したりするコンピュータープログラムのこと。ビッグデータと呼ばれる膨大なデータ蓄積を活用し、多くのデータの中からパターンの特徴を見つけ出すことで業務の効率化が期待できる。

※3 **RPA【Robotic Process Automation】**

人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替すること。主に企業などのデスクワークにおけるパソコンを使った業務の自動化・省力化を行うもので、業務の効率化や低コスト化を進めることができる。

問10 障害のある方におたずねします。それ以外の方は問11にお進みください。

ご自身の障害の程度が、「就労に向けた職業訓練が通所等により受講できる」と思われる場合は次の問にご回答ください。

富山県技術専門学院の離職者訓練では、障害のある方の就労支援のため、障害のある方の職業訓練受講生を増やす取り組みを計画しています。

あなたが再就職に向け新たな技術や資格などを習得するなら、事務系以外の以下の内容にチャレンジしたいと思いませんか。興味のあるものに○を付けてください。(○はいくつでも)

1. ものづくり現場技術の習得
2. 清掃技術の習得
3. 販売実務の習得
4. 就業に係る基礎的技術の習得
5. その他()
6. 興味がない

問 1 1 4 ページで紹介した「富山県技術専門学院」のことについてお聞きます。あなたは、以前から「富山県技術専門学院」のことをご存じでしたか。(いずれかに○)

- 1. 知っていた
- 2. 知らなかった
- 3. その他 ()

問 1 2 公共職業能力開発施設での教育訓練として、適正だと思う期間を 1 つ選んでください。(いずれかに○)

- 1. 1 ヶ月程度
- 2. 3 ヶ月程度
- 3. 4 ヶ月程度
- 4. 6 ヶ月程度
- 5. 1 年程度
- 6. 2 年程度
- 7. その他 ()

問 1 3 公共職業能力開発施設での教育訓練は、どのような時間帯を希望しますか。(○はいくつでも)

- 1. 1 日 (9～16 時)
- 2. 半日 (午前)
- 3. 半日 (午後)
- 4. 夜間 (17～21 時)
- 5. オンデマンド等で自由な時間に
- 6. その他 ()

問 1 4 公共職業能力開発施設での教育訓練のうち座学部分の受講方式について、対面授業か、リモート授業か(オンライン・オンデマンド配信による)を自分で選べるようになったら、あなたにとって受講しやすくなりますか。(○は 1 つ)

- 1. 受講しやすくなる
- 2. 受講しやすくはならない
- 3. わからない
- 4. その他 ()

問 1 5 現在、技術専門学院 新川センター(黒部市)及び砺波センター(南砺市)へのCAD系の科の設置を検討しています。もし設置されたとしたら、あなたは受講してみたいですか。(いずれかに○)

- 1. 受講してみたい
- 2. 受講してみたくはない
- 3. わからない
- 4. その他 ()

問 1 6 富山県技術専門学院では、企業に在籍している人向けの在職者訓練も実施しています。これまでのご経験から、今後、リカレント教育として受けてみたい講座があればご自由にご記入ください。

在職者訓練コース例：Word&Excel 基礎、AutoCAD 基礎、原価管理講習、コーチング基礎、シーケンス基礎、溶接技能基礎、鉄筋施工講習など

問 1 7 富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. Twitter	2. Instagram	3. YouTube
4. LINE	5. FaceBook	6. 県や学院のHP
7. 市町村などの広報誌	8. フリーペーパー	9. パンフレット配布
10. ポスター掲示	11. 求職者・企業へのDM	12. TV・ラジオCM
13. イベント開催	14. ラッピング広告	15. ノベルティグッズ配布
16. わからない	17. その他 ()	

問 1 8 富山県技術専門学院で県が実施する公共職業訓練に対するご意見・ご要望があれば、自由にご記入ください。

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

「富山県技術専門学院ニーズ調査」へのご協力をお願い

県では、就職のために必要な職業スキル・知識を習得できる学校として「富山県技術専門学院」（以下、事業紹介を参照）を運営しています。

この度、皆様のお考えやご要望を当学院のカリキュラム等に反映するため、「富山県技術専門学院ニーズ調査」を実施することにしました。つきましては、お手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、本調査以外の目的に使用することはありませんので、率直なご意見をお書きくださいますよう、重ねてお願いいたします。

令和3年11月

富山県 商工労働部 労働政策課
富山県技術専門学院

注意事項

- ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いいたします。
- 調査票は、**必要事項をご記入の上、配布を受けた場所でご提出ください。**

【お問い合わせ先】 富山県商工労働部労働政策課人材育成係 担当 山本、保田、澤田 TEL 076-444-3259
【調査委託事業者】 株式会社ジック経営コンサルタント 担当 五十嵐、上田 TEL 076-444-0035

富山県技術専門学院の設置科について（事業紹介）

富山県技術専門学院とは？

県立の職業能力開発校（職業訓練校）で、“^{けんぎせん}県技専”と略して呼ばれています。

就業のために必要な職業スキルや知識などを習得できる「公共職業訓練」等を実施しています。高校生の皆さんが進学先として技術を学ぶためのコースを設置するほか、社会人の方が新たな就職先を探す際のスキルアップを支援するコースもあります。高卒者を対象として設置している科は以下の表のとおりです。

「職業訓練」と聞くと、何となくお堅い感じや辛そうなイメージを持つかもしれませんが、実際は、いろいろな技術や技能を学ぶための学校であり、技術系短大の雰囲気をご想像していただければOKです。

富山県技術専門学院 本校（富山市向新庄町1-14-48）

科名	内容	定員	期間	学費
自動車整備科	2級自動車整備士の養成 【目標資格】2級自動車整備士、中古自動車査定士技能検定（小型車）等	20	2年間	64,800 円/年
メカトロニクス科	機械操作や制御技術など生産現場の技術者養成 【目標資格】技能検定2級（機械加工）、2次元CAD利用技術者試験2級等	20		
電子情報科	ソフトウェア技術など高度情報技術者の養成 【目標資格】技能検定3級（電子機器組立）、情報処理技術者試験等	20		

問1 あなたご自身のことについて、ご記入又は該当項目に○をつけてください。

性別 (任意)	1. 男 2. 女	年齢	歳	住所	市・町・村
在籍校 学科等	学校名：		学科名：		学年： 年

問2 あなたが将来就職を希望する業種を2つ選んでください。(○は2つまで)

業 種	製造業	1. 食料品 2. 繊維製品関連 3. 木材・家具 4. パルプ・紙加工品 5. 印刷 6. 窯業・土石製品製造業 7. 化学(医薬)・プラスチック 8. 金属製品 9. 一般機械 10. 電子部品・デバイス 11. 電気機械 12. 輸送機械 13. 精密機械 14. その他製造業 ()
	非製造業	15. 運輸業 16. 建設業 17. 卸・小売業 18. 金融保険業 19. 電気・ガス・熱供給業 20. 情報通信業 21. 医療・福祉 22. 宿泊業・飲食サービス業 23. その他サービス業 (以下のいずれかに○) 231. ビルメンテナンス業 232. ビルメンテナンス業以外 24. その他非製造業 ()
		25. 業種にこだわりはない 26. わからない 27. まだ決めていない

問3 あなたが将来就職を希望する職種を1つ選んでください。(いずれかに○)

1. 専門・技術職 2. 経営・管理職 3. 一般事務職 4. 営業・販売職 5. 警備・保安職 6. 生産技術・技能職 7. 単純労務職 8. その他 () 9. 職種にこだわりはない
--

問4 (1) あなたが将来就職する上で、重視したい項目を選び○を付けてください。(○はいくつでも)

1. 正社員・非正社員の区分 2. 収入 3. 適性にあった仕事 4. 時間・休日等の就業条件 5. 通勤条件 6. 仕事のやりがい 7. 仕事のハード具合(労働密度) 8. 職場環境 9. 仕事の外観(世間体等) 10. 知識や経験が活かせること 11. 安定して長く働けること 12. その他 ()

(2) 上記の中で、あなたがもっとも重視する項目の番号を1つ選んで、記入してください。_____

問5 富山県技術専門学院の3科の中で、進学先として興味のあるものを選んでください。(いずれかに○)

1. 自動車整備科 2. メカトロニクス科 3. 電子情報科 4. 特になし 5. その他 ()

問6 DX 関連の教科を前問の2、3のコースに組み込むとしたら、DX 関連でどのような内容に興味がありますか。

(○はいくつでも)

1. プログラミング技術
2. I o T 技術
3. A I 技術
4. ロボット技術、F A (ファクトリーオートメーション) 技術
5. R P A 技術
6. 興味はない
7. わからない
8. その他 ()

※1 DX【 Digital Transformation 】

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革すること。業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立できる。

※2 I o T【 Internet of Things 】

「モノのインターネット」と訳され、あらゆるモノがインターネットにつながった状態。通信技術やセンサー技術の進化により、モノがネットにつながることで、様々な静態リアルタイムでやりとりできる。対象とするデータを数値等で「見える化」することで、生産性や品質の向上、経費削減等を進めることができる。

※3 A I【 Artificial Intelligence 】

人工知能のことで、人間が指示を与えなくても論理的な推論をしたり、経路から学習したりするコンピュータープログラムのこと。ビッグデータと呼ばれる膨大なデータ蓄積を活用し、多量のデータの中からパターンの特徴を見つけ出すことで業務の効率化が期待できる。

※4 R P A【 Robotic Process Automation 】

人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替すること。主に企業などのデスクワークにおけるパソコンを使った業務の自動化・省力化を行うもので、業務の効率化や低コスト化を進めることができる。

問7 問5で「4. 特になし」を選んだ方にお聞きます。

どのような科目・内容があれば進学を希望されますか。希望することを具体的に記入してください。

科目 (希望するものに○、またはカッコ内に記入)

1. 土木系学科
2. 建築施工系学科
3. 情報処理系学科
4. 工芸・デザイン系学科
5. その他 () 系学科

内容 (学びたいことを具体的に記入)

問8 富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。

(○はいくつでも)

1. Twitter
2. Instagram
3. YouTube
4. LINE
5. FaceBook
6. 県や学院のHP
7. 市町村などの広報誌
8. フリーペーパー
9. パンフレット配布
10. ポスター掲示
11. 求職者・企業へのDM
12. TV・ラジオCM
13. イベント開催
14. ラッピング広告
15. ノベルティグッズ配布
16. わからない
17. その他 ()

問9 富山県技術専門学院で県が実施する公共職業訓練に対するご意見や、社会人となった後に、自らの技能のステップアップのために、今後学んでみたい内容について自由にご記入ください。

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

富山県技術専門学院ニーズ調査

問1 あなたご自身のことについて、ご記入又は該当項目に○をつけてください。

性別 (任意)	1. 男	2. 女	年齢	歳	住所	市・町・村
最終学歴	1. 中卒 2. 高卒 (普通・工業・その他) 3. 高専卒 4. 短大卒 5. 大卒 6. 大学院卒 7. その他 () 8. わからない					
技専の 修了年月	1. 平成 2. 令和 年 月 修了					
就職時期	1. 修了後すぐ 2. 修了後3か月以内 3. 修了後6か月以内 4. その他 ()					
就職分野	1. 修了した訓練科と関連した分野 2. 修了した訓練科とは関連しない分野					
継続状況	1. 修了直後の就職先で継続就業中 2. 修了直後の就職先は退職し、現在求職中 3. 修了直後の就職先は退職し、新たな就職先で就業中 4. その他 ()					

あなたが修了した訓練科について

問2 あなたが修了した訓練科は次のどれですか。 ※下記は令和3年度現在の科名です。

(該当する番号に○を付けてください。複数ある場合は直近のものについてご記入ください。)

富山県 技術専門学院	普通課程	1. 自動車整備科【2年間】 2. メカトロニクス科【2年間】 3. 電子情報科【2年間】 4. その他 ()
	短期課程 本校	5. 金属加工科 (企業実習付コース)【1年間】 6. 金属ものづくり基礎科【6ヵ月間】 7. 造園管理科【6ヵ月間】 8. 環境エネルギー設備科 (企業実習付コース)【1年間】 9. 環境エネルギー設備科 (配管・電気コース)【6ヵ月間】 10. 環境エネルギー設備科 (配管・制御コース)【6ヵ月間】 11. 木材加工科 (企業実習付コース)【1年間】 12. 木材加工科 (一般コース)【6ヵ月間】 13. O A事務科 (販売事務コース)【4ヵ月間】 14. O A事務科 (経理実践コース)【4ヵ月間】 15. O A事務科 (生産事務コース)【4ヵ月間】 16. その他 ()

	新川センター	17. エコ住宅リフォーム科（企業実習付コース）【1年間】 18. エコ住宅リフォーム科（一般コース）【6ヵ月間】 19. ビジネス事務科（パソコン・経理コース）【4ヵ月間】 20. ビジネス事務科（会計事務コース）【4ヵ月間】 21. 介護サービス科【2ヵ月間】 22. その他（ ）
	砺波センター	23. パソコン事務科【4ヵ月間】 24. 簿記・会計科【4ヵ月間】 25. 介護サービス科【2ヵ月間】 26. その他（ ）

問3 入校する以前に、富山県技術専門学院のことは何で知りましたか。（○はいくつでも）

1. 自分で調べた 2. 学校の先生から 3. 家族から 4. 先輩や友人から 5. パンフレットやチラシを見た 6. ハローワークで知った 7. 進路ガイダンス等で知った 8. インターネットやTVなど県の広報で知った 9. その他（具体的に： ）

問4 富山県技術専門学院に入校した理由や動機は次のどれに近いですか。（○はいくつでも）

1. 訓練内容に興味があったから 2. 技術や技能を身につけられるから 3. 資格を取れるから 4. 就職率が高いから 5. 学費等の負担金が安いから 6. 先生にすすめられたから 7. 家族にすすめられたから 8. 友人や先輩にすすめられたから 9. オープンキャンパスが良かったから 10. その他（具体的に： ）
--

問5 あなたが修了した訓練科の訓練期間についてどう思いますか。（いずれかに○）

1. 長かった ⇒ 問6へお進みください 2. ちょうどよかった ⇒ 問7へお進みください 3. 短かった ⇒ 問6へお進みください
--

次ページに続く

問6 問5で「長かった」あるいは「短かった」と回答された方にお聞きます。【該当しない方は問7へお進みください】
あなたにとって、訓練期間はどれくらいが適当だったと思いますか。(いずれかに○)

1. 4年間以上
2. 3年間
3. 2年間
4. 1年間
5. 6か月間
6. 3か月間
7. 1か月間
8. その他 ()

問7 富山県技術専門学院に入学して良かったと思いますか。(いずれかに○)

1. 良かったと思う ⇒ 問8へお進みください
2. どちらとも言えない ⇒ 問10へお進みください
3. 良かったとは思わない ⇒ 問9へお進みください

問8 問7で「1. 良かったと思う」と回答した方にお聞きます。【該当しない方は問9へお進みください】
良かったと思う理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 訓練内容や設備が充実していた
2. 技術や技能が身についた
3. 資格が取れた
4. 就職ができた
5. いい先生や仲間に出会えた
6. 職業人生を考える良い機会になった
7. 学費など負担金が安かった
8. 交通アクセスが良かった
9. その他 ()

問9 問7で「3. 良かったとは思わない」と回答した方にお聞きます。【該当しない方は問10へお進みください】
良くなかった理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 訓練内容が不足していた
2. 技術や技能が身につかなかった
3. 資格が取れなかった
4. 就職ができなかった
5. いい先生や仲間がいなかった
6. 職業人生を考える機会にならなかった
7. 学費など負担金が高かった
8. 交通アクセスが悪かった
9. その他 ()

今後の富山県技術専門学院への要望について

問 10 富山県技術専門学院在籍中又は修了後に取得して良かった、仕事に役に立ったと思う資格はありますか。
在籍中に取得できるもの (○はいくつでも)

1. 2級自動車整備士	2. 中古自動車査定士技能検定(小型車)	
3. ガス溶接技能講習	4. アーク溶接等業務特別教育	
5. 低圧電気取扱者特別教育	6. 技能検定2級(普通旋盤)	7. 第二種電気工事士
8. CS技能評価試験3級	9. 2次元CAD利用技術者試験2級	10. 日商簿記検定
11. 秘書検定	12. 日商PC検定	13. 日商原価計算
14. 初級デジタル技術検定	15. 情報処理技術者試験	
16. 溶接技能者	17. 技能検定3級(電子機器組立て)	
18. 技能検定3級(造園)	19. 液化石油ガス設備士	20. 消防設備士
21. リテールマーケティング(販売士)検定		22. 建築CAD検定
23. 研削砥石特別教育	24. 玉掛け技能講習	
25. 小型移動式(5t未満)クレーン技能講習		
26. 床上操作式(5t未満)クレーン特別教育		
26. 玉掛け特別教育(1t未満)	28. フォークリフト技能講習	
29. 介護職員初任者研修	30. 救命講習	
31. その他 ()		
32. 在籍中に取得した資格はない		

修了後に取得できるもの (検定職種名を記入し取得した級に○)

33. 技能検定 ()	(特 1 2 3 単一等) 級
34. その他 ()	
35. 修了後に取得した資格はない	

問 11 富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. Twitter	2. Instagram	3. YouTube
4. LINE	5. FaceBook	6. 県や学院のHP
7. 市町村などの広報誌	8. フリーペーパー	9. パンフレット配布
10. ポスター掲示	11. 求職者・企業へのDM	12. TV・ラジオCM
13. イベント開催	14. ラッピング広告	15. ノベルティグッズ配布
16. 特にない	17. わからない	
18. その他 ()		

引き続き、次のページにお進みください。

問 12 富山県技術専門学院での公共職業訓練の質を向上させるために、カリキュラム、就業支援、授業以外の取り組みなどにおいて改善すべき点があれば、自由にご記入ください。

(例) IoT、AI、RPA 活用など、生産性向上に関する講座の設定を希望

記入漏れが無いかどうか最後にもう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。